

目 次

開催概要	3
プログラム	4
[1] 東日本大震災でのサニテーション被害とトイレ問題	
上 幸雄 (NPO法人日本トイレ研究所)	6
[2] 東日本大震災への対応について	
岡久 宏史 (国土交通省水管理・国土保全局下水道部長)	12
<第1部> 「水洗トイレが使えない時、どうする」(施設・空間)	
[3] トイレは体の一部と考える	
黒田 裕子 (NPO法人阪神高齢者・障害者支援ネットワーク理事長)	21
[4] 災害時に浄化槽はどのように機能したか?	
岡城 孝雄 ((財)日本環境整備教育センター企画情報グループリーダー)	23
[5] 災害時におけるし尿収集・処理の有効性について	
森田 昭 ((財)日本環境衛生センター総局企画部JSC支援室)	27
[6] 災害用トイレはこのままでいいのか	
永原 龍典 (NPO法人日本トイレ研究所)	30
<第2部> 「災害時にトイレと健康を維持するために」(健康)	
[7] 腸内環境を知り、免疫力をつける	
辨野 義己 ((独)理化学研究所イノベーション推進センター辨野特別研究室)	32
[8] 適切な排尿が命を守るー排尿管理、これもまた危機管理！ー	
吉川 羊子 (小牧市民病院 泌尿器科排尿ケアセンター部長)	34
[9] 排便がスムーズにできることの大切さ	
中野 美和子 (さいたま市立病院 小児外科診療部長)	40

<第3部> 「災害に強い社会づくりは、人づくりから」(地域・人)

[10] 環境教育と防災対策をつなぐ

小澤 紀美子 (東京学芸大学名誉教授・東海大学教授) 42

[11] 地域保健の根底にはトイレがある

高橋 競 (東京大学大学院医学系研究科)

神馬 征峰 (東京大学大学院国際地域保健学教授) 48

[12] 『災害時トイレ管理士(仮称)』制度の創設に向けて

加藤 篤 (NPO法人日本トイレ研究所) 50